

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 29 日 (2009.1.29)

【公開番号】特開 2007-165961 (P2007-165961A)

【公開日】平成 19 年 6 月 28 日 (2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報 2007-024

【出願番号】特願 2005-355822 (P2005-355822)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

H 0 4 B 7/08 (2006.01)

H 0 4 N 5/45 (2006.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/16 C

H 0 4 B 7/08 D

H 0 4 N 5/45

H 0 4 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 12 月 9 日 (2008.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デジタルデータ受信機において、

それぞれが個別にチャンネルを選択可能に構成され、該選択されたチャンネルに係る受信信号を出力する複数のブランチと、

前記複数のブランチのうちの少なくとも一部を合成対象とし、該合成対象のブランチから出力される信号を合成して出力可能なダイバーシチ処理部と、

前記デジタルデータ受信機の置かれる環境状況を検知するための検知部と、

前記検知部による検知結果に応じて、前記ダイバーシチ処理部における前記合成対象のブランチ切換えを含む動作制御を行う制御部と、

を有することを特徴とするデジタルデータ受信機。

【請求項 2】

前記ダイバーシチ処理部は、前記複数のブランチのうちの前記合成対象のブランチ以外のブランチから出力される信号を合成せずに出力可能である、請求項 1 に記載のデジタルデータ受信機。

【請求項 3】

前記ダイバーシチ処理部は、前記複数のブランチのうちの前記合成対象のブランチ以外のブランチから出力される信号を合成して出力可能である、請求項 1 に記載のデジタルデータ受信機。

【請求項 4】

前記検知部は、前記ダイバーシチ処理部の出力信号に基づく映像を表示する前記表示部を視聴する視聴者の配置を検知するための配置検知部であって、

前記制御部は、前記配置検知部の検知結果に基づいて、前記ダイバーシチ処理部におけるモードの動作制御を行う、請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載のデジタルデータ受信機。

【請求項 5】

前記検知部は、前記ダイバーシチ処理部の出力信号に基づく映像を表示可能な表示部数を検知するための表示部検知部であって、

前記制御部は、前記表示部検知部の検知結果に基づいて、前記ダイバーシチ処理部におけるモードの動作制御を行う、請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載のデジタルデータ受信機。

【請求項 6】

前記検知部は、緊急警報情報を検知するための緊急警報情報検知部であって、

前記制御部は、前記緊急警報情報検知部が緊急警報情報を検知した場合には、前記複数のブランチの全てを前記合成対象のブランチにする制御を行う、請求項 1 に記載のデジタルデータ受信機。

【請求項 7】

前記制御部は、前記複数のブランチのうち、表示される映像に利用する信号を出力するブランチ以外のブランチからの信号を利用して、チャンネルサーチを行う、請求項 1 ～ 6 の何れか一項に記載のデジタルデータ受信機。

【請求項 8】

前記制御部は、前記複数のブランチのうち、表示される映像に利用する信号を出力するブランチ以外のブランチからの信号を利用して、番組の検索を行う、請求項 1 ～ 6 の何れか一項に記載のデジタルデータ受信機。

【請求項 9】

前記制御部は、前記ダイバーシチ処理部に異なる映像に利用する信号を同時に出力させ、複数の表示部に異なる映像を同時に表示させるように制御可能である、請求項 1 ～ 8 の何れか一項に記載のデジタルデータ受信部。

【請求項 10】

前記制御部は、前記ダイバーシチ処理部の出力信号に基づく音声出力可能で、前記複数の表示部に対応して設けられる複数のスピーカの出力制御が可能であり、前記複数の表示部に異なる映像を表示させるときに、前記複数の表示部にそれぞれ対応するスピーカから、表示された映像に対応する音声出力させるように制御可能である、請求項 9 に記載のデジタルデータ受信機。